



「環境の世紀」と言われる21世紀、我々の事業活動は環境問題を抜きにして語ることはできません。何故ならば、地球や自然環境との共生という視点に立った「資源循環型社会」への転換なくして社会や企業の持続的な発展はありえないからです。我々は社会を構成する一員として、また様々な地球資源を活用して製品を生み出すメーカーとして、より積極的に環境問題に取り組む責務があると考えます。言い換えると、環境問題への様々な対策を単に必要なコストとして認識するのではなく、自然環境の維持、改善や地球資源の保護に対して我々は何ができるのかを真剣に考え実行していくということであろうと思います。

FDKは1994年に環境活動の基本方針を「FDK環境憲章」として制定し、「FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために」のスローガンのもと、グループ一体となって積極的な活動を推進しています。更に、環境測定・分析、環境施設の設計施行、コンサルティング事業やパソコン、OA機器のリサイクル事業等を行うグループ各社を通じて、環境に対してより積極的な役割を果たすべく事業活動を展開しています。

本年度は「第二期環境行動計画」にもとづき、グリーン調達や製品のライフサイクルアセスメント手法の導入による環境と調和した製品の創出を推進してきました。その結果、はんだの鉛フリー化、フェライトにおける工程内廃棄物のリサイクル、リユース等具体的な成果に結びついてきています。

本報告書は2001年度における環境活動の内容と成果をまとめたものです。本報告書を通じてFDKグループの環境への取り組みをご理解いただくとともに、皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

代表取締役社長

鈴木 堆司